

スポーツ縁日アンケート 集計結果とまとめ

【調査概要】

対象：チャレンジウィークにおけるスポーツ縁日のイベントに

参加した小学1年生～6年生のこどもとその保護者

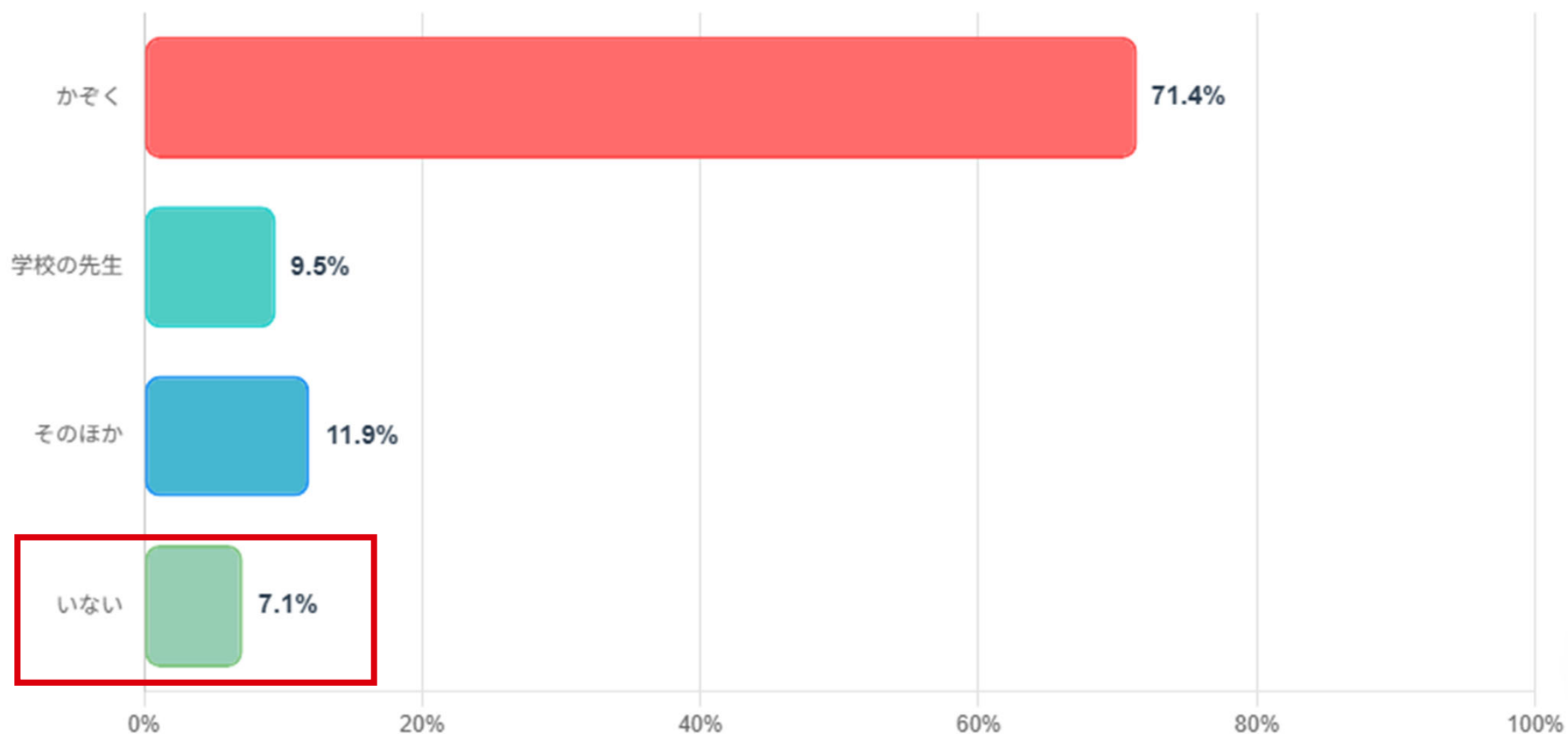
方法：イベント会場での模造紙アンケート(シール方式)

調査日：2025年5月25日(日)

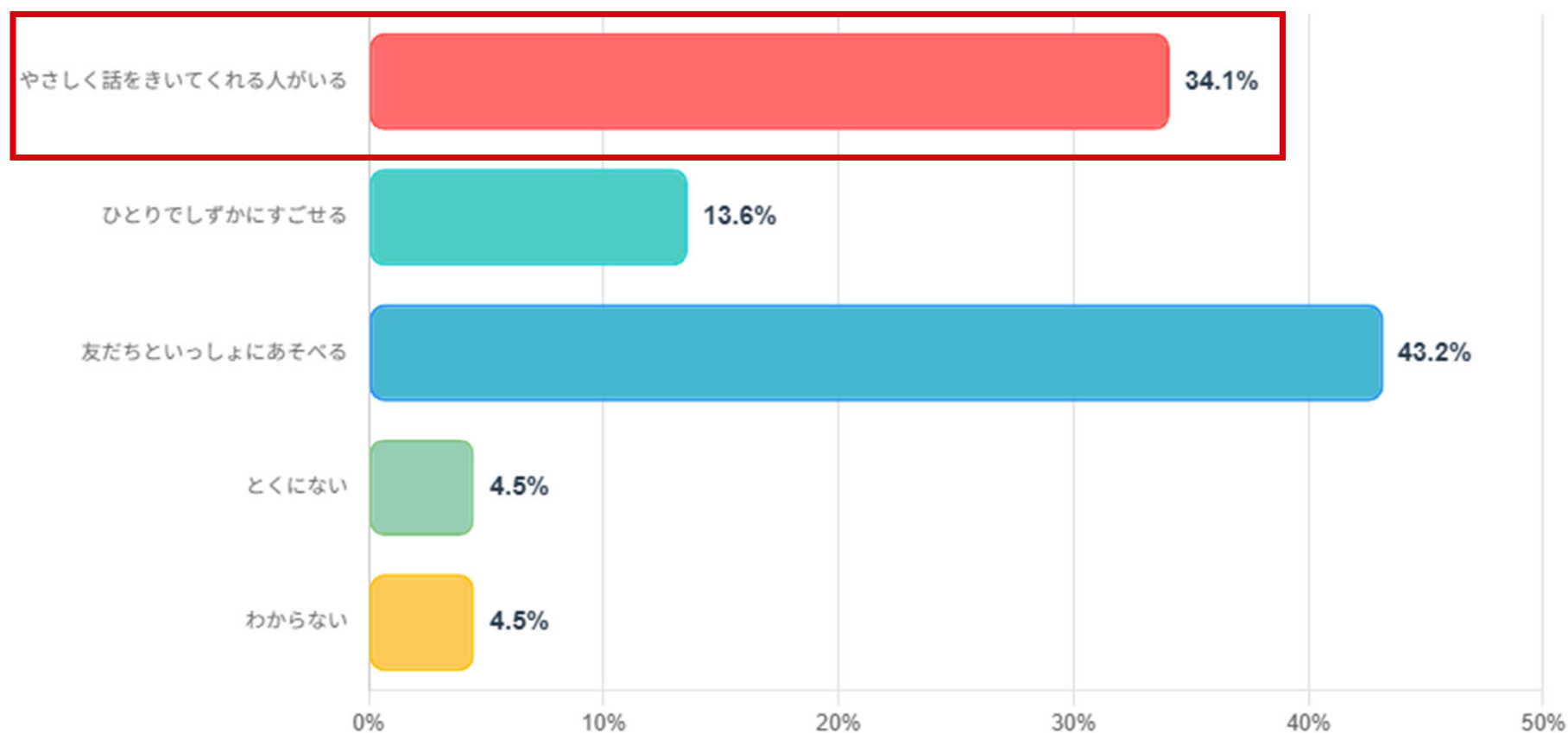


<こども>

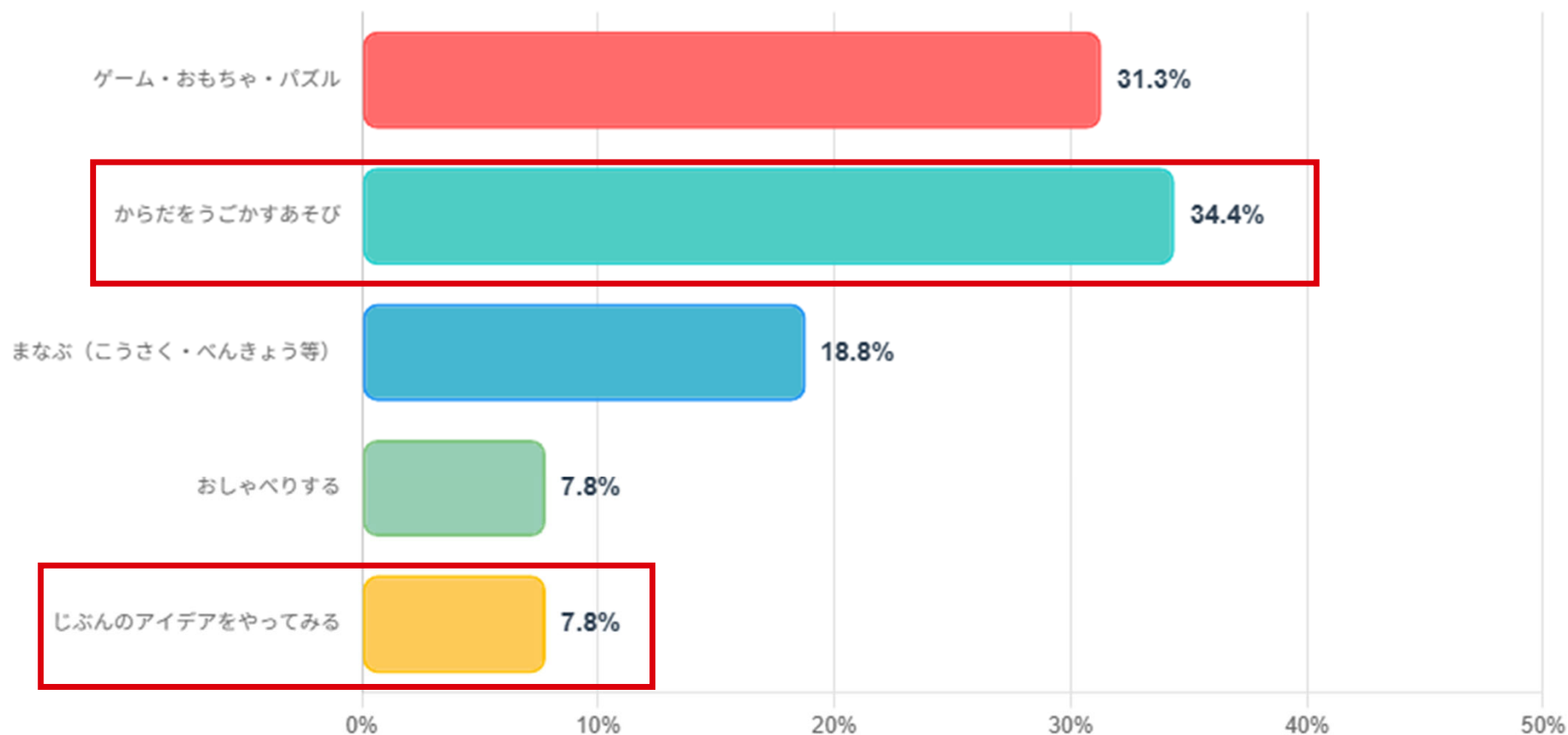
質問1：じぶんのきもちをすなおにはなせる人はいる？（複数回答可）（n=42）



質問2：じぶんのきもちをはなしたくなったとき、どんなばしょがあるとうれしい？（複数回答可）
(n=44)



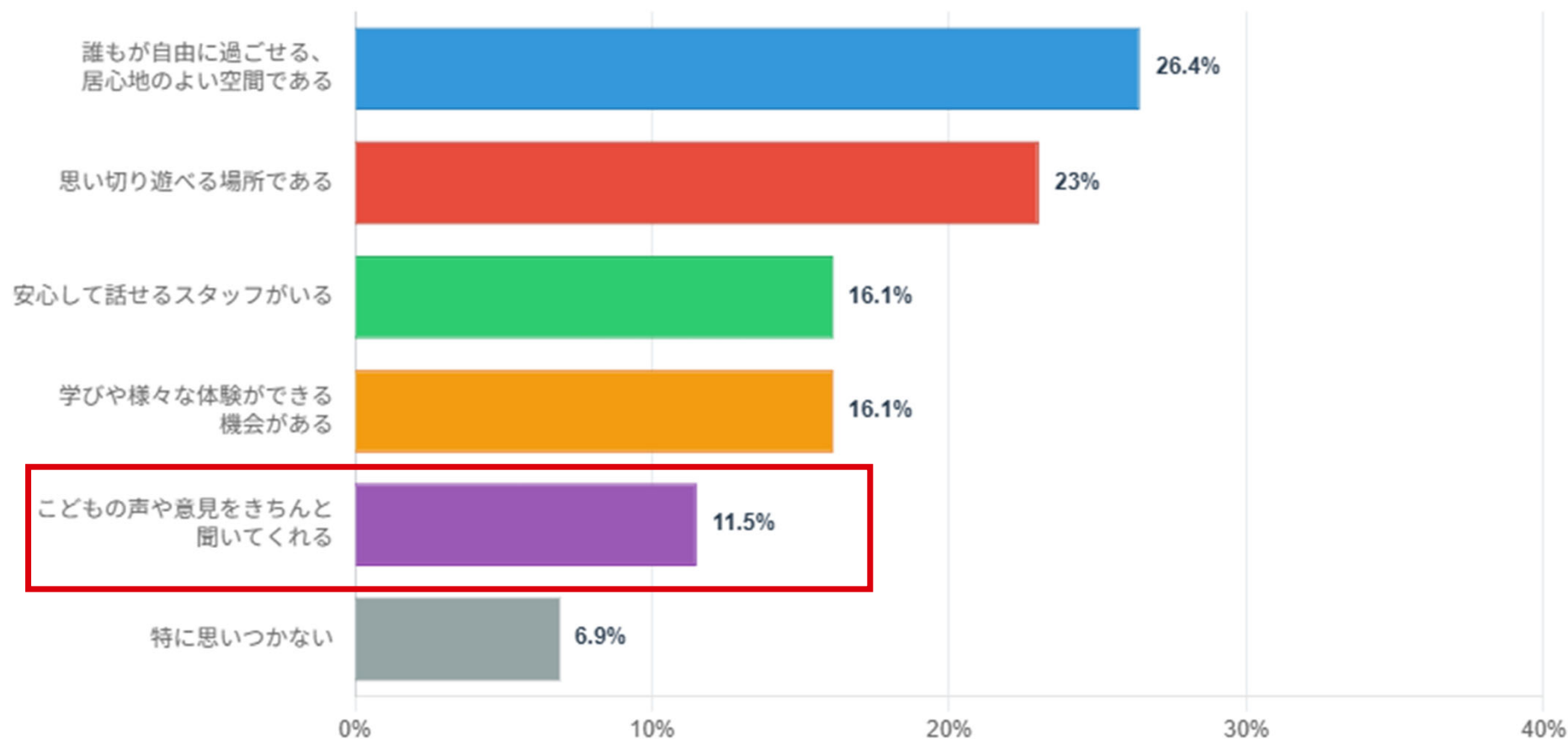
質問3：じどうかんでやってみたいことはどれ？（単一回答）（n= 64）



- ・自分の気持ちを素直に話せないこどもの存在： 話せる人がいない 7.1%
 - ・気持ちを話したくなった時、安心して話を聞いてくれる人のニーズ：
やさしく話をきいてくれる人がいる 34.1%
- ⇒新児童館に「相談・つなぎ機能」があるとニーズに対応できるのではないか
- ・体を動かす活動、自らの考えを形にすることへの関心：
児童館で最もやりたいこと「からだをうごかすあそび 34.4%」
「じぶんのアイデアをやってみる 7.8%」
- ⇒従来の児童館にある「まなび・育成機能」の更なるグレードアップ、付加機能で検討している「意見プラスの機能」へのニーズへの対応の必要性
- 「まなび・育成×意見プラス」で、具体的なアクションに取り組むのも一つの手法

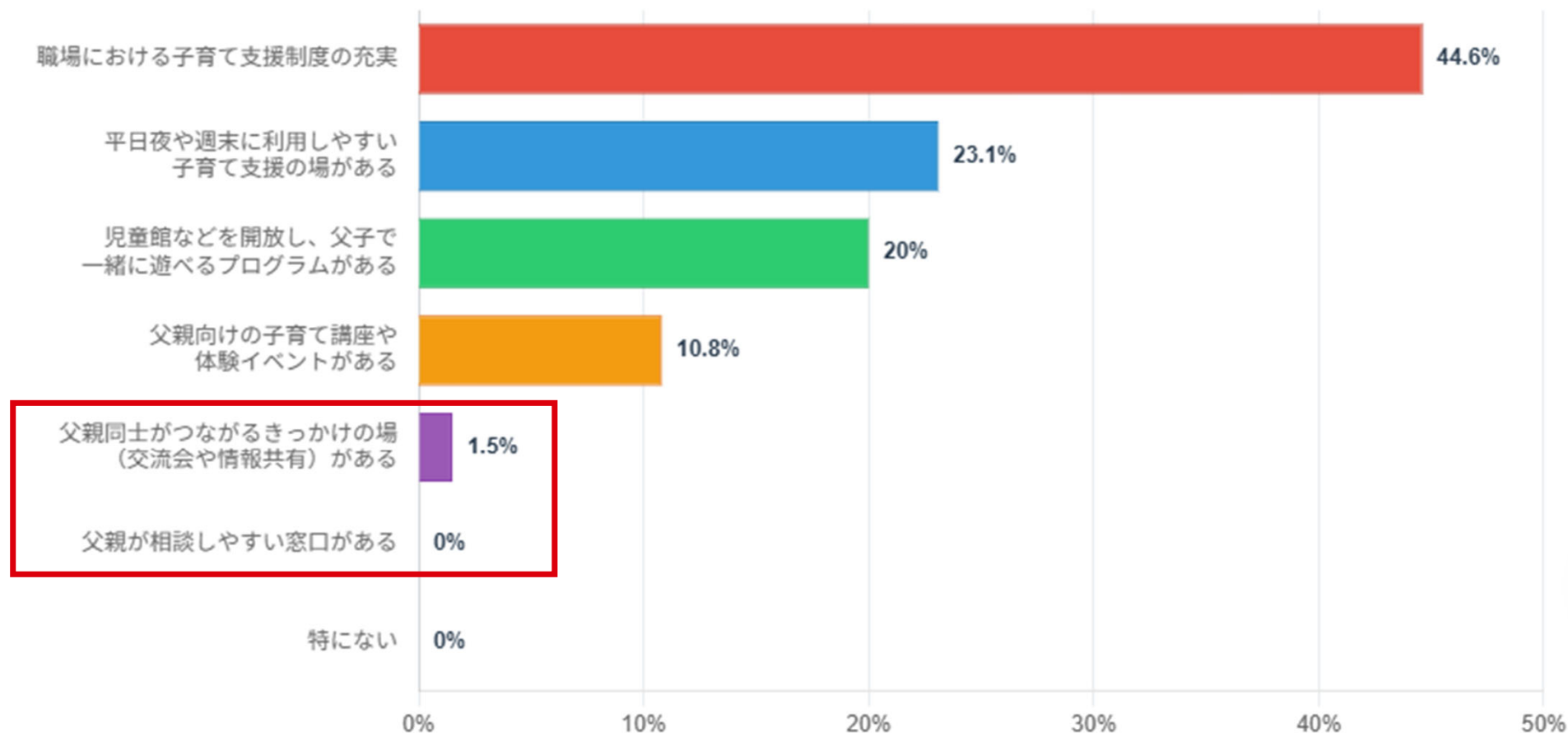
<保護者>

質問1：こどもにとって、児童館が安心して過ごせる場所となるために、大切だと思うことを教えてください。（複数回答可）（n= 87）



<保護者>

質問2：父親が子育てにもっと関わりやすくなるために、どのような支援や工夫があるとよいと思いますか？（複数回答可）（n= 65）



保護者 集計からみた気づき(1)

◆ 児童館は「こどもが安心してすごせる場所」として期待度が高い

新児童館の付加機能として検討している

「居場所、まなび・育成、相談・つなぎ、意見プラス、こどもの権利理解促進」のいずれの項目も大切であると意見はあがっているものの、項目により期待度に差があり

期待度が高い項目： 居場所機能

「誰もが自由に過ごせる、居心地のよい空間である」が26.4%で最多

期待度が低い項目： こどもの意見プラス、権利の理解

「こどもの声や意見をきちんと聞いてくれる」は11.5%と比較的低水準

⇒保護者に対し、こどもの権利の理解やその重要性を伝える機会等が必要

保護者 集計からみた気づき(2)

◆ 父親の子育て参加を促すには

- ・制度的支援の要望が最多:

「職場における子育て支援制度の充実」が44.6%で突出

- ・利用しやすい時間帯の整備がカギ:

「平日夜や週末に利用しやすい支援の場」23.1%

- ・父子で遊べる場への関心も高い:

「児童館を父子で一緒に遊べるプログラムがある」20.0%

- ・父親同士のつながりや相談支援への必要性の認識が低い:

「父親同士の交流」や「相談窓口」はそれぞれ1.5%、0%

⇒本PTの重点テーマとして来年度から本格的に検討